

DYNAC

株式会社ダイナックホールディングス

株主通信

第76期 中間決算報告書

2019年1月1日～2019年6月30日

トップメッセージ

時代のニーズに合った
テーマ性のある業態を創出し、
再整備を推し進めました。

出店情報

テーマ性のある新業態「肉バル」を開発
高速道路2施設目「PIT SUZUKA」をオープン

証券コード2675



東京コトブキ

時代のニーズに合った テーマ性のある業態を創出し、 再整備を推し進めました。

2019年9月
代表取締役社長

若杉和正



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社2019年12月期（2019年1月1日～12月31日）における事業概況のご報告にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当上半期における外食業界は、依然として根強い消費者の節約志向の中、厳しい経営環境が続いております。このような中、当社グループは「お客様の感動満足」を起点とした更なるグループの成長の実現に向け、高付加価値業態の開発・展開、既存業態についてはリ・ブランディングを着実に進めるなど、当社グループ事業の強みを活かした収益基盤の強化に取り組むとともに、食に対する安全・安心の追求及びお客様に最高の商品・サービス・環境をご提供できる店づくりを心がけてまいりました。

2つの事業で強みを発揮、より一層の顧客サービスの充実に取り組む

受託運営事業においては、新名神高速道路・鈴鹿パーキングエリア（三重県鈴鹿市）の商業施設「PIT SUZUKA（ピットスズカ）」をオープンさせ運営を開始したほか、ゴルフ場レストランを新たに1店舗受託するとともに、直営のバー・レストラン事業では、時代のニーズに合ったテーマ性のある業態「肉屋のワイン食堂 ラ・ブーシェリー・エ・ヴァン」や「肉バル ガブル」の2店舗を新たに1店舗受託しました。また、既存4店舗を「コトブキ」「モツダ」「銀座ワイン食堂パピラノ」の専門性の高い業態へリ・ブランディングを進め、ブランド価値向上を目指した店舗展開を積極的に実施しました。また、「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」をリニューアルし、ご来店回数に応じた会員ステージ制、公式スマホアプリの導入、さらに「自社メディア（公式ホームページ）」と「倶楽部ダイナック」の連携によるネット予約ポイントの導入等、より一層の顧客サービスの充実に取り組みました。

経営スピードアップに向けた構造改革を実施

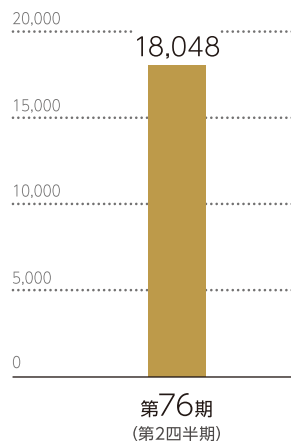
当社グループは、昨年の持株会社体制へ移行したのに続き、受託運営事業のさらなる事業拡大を推し進めるため、2019年4月1日に事業会社である株式会社ダイナックを分割し、連結子会社として株式会社ダイナックパートナーズを設立いたしました。これにより、さらなる企業価値向上の実現に向けた最適な事業運営体制を確立し、経営のスピードアップを図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層の力強いご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結) FINANCIAL HIGHLIGHT

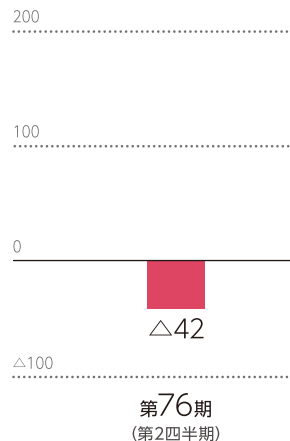
※前期第3四半期より連結決算に移行したため対前年同期との比較を記載しておりません。

売上高 (百万円)



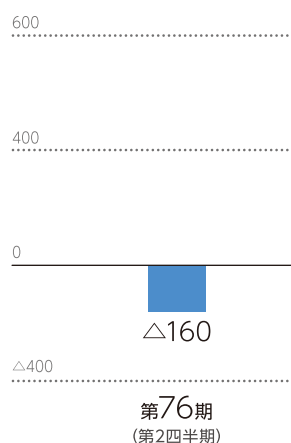
高付加価値業態の開発・展開、既存業態についてはリ・ブランディングを着実に進め、さらに「倶楽部ダイナック(顧客会員カード)」をリニューアルし、ご来店回数に応じた会員ステージ制、ネット予約ポイント、スマートフォン向けアプリを導入するなど、より一層の顧客サービスの充実に取り組み、売上高は18,048百万円となりました。

経常損失(△) (百万円)



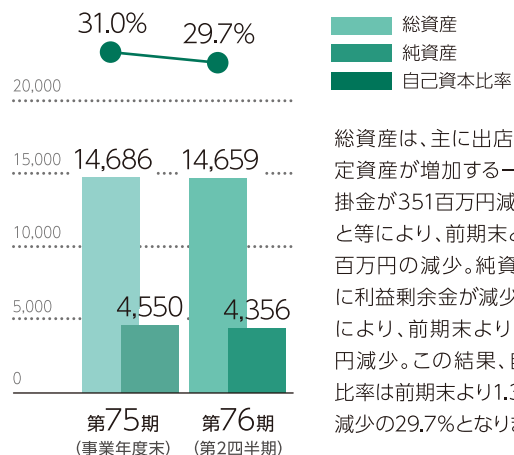
採用・教育を積極的に強化したことによる人件費の増加等の影響や店舗にかかる営業補償金の受入により、経常損失42百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失(△) (百万円)



改装等に伴う固定資産の除却損に加え、一部店舗の減損損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は160百万円となりました。

総資産 / 純資産 / 自己資本比率 (百万円)



総資産は、主に出店に伴う固定資産が増加する一方で、売掛金が351百万円減少したこと等により、前期末と比べ27百万円の減少。純資産は、主に利益剰余金が減少したことにより、前期末より193百万円減少。この結果、自己資本比率は前期末より1.3ポイント減少の29.7%となりました。

■ 中間配当について 第76期の中間配当金につきましては、1株につき6円とさせていただきます。

事業会社 出店情報

外食事業(バー・レストラン)

テーマ性のある新業態「肉バル」を開発

当上半期は、大阪・京橋のビジネス街の中核ビルに新業態「肉バル ガブル」を、東京・浜松町の駅近に竣工したビルに肉とワインのフレンチ業態「ラ・ブーシェリー・エ・ヴァン」を出店。また、既存の4店舗を「コトブキ」「モソーダ」「銀座ワイン食堂パピラノ」へと積極的にリ・ブランディングを進め、魅力溢れる店舗へ生まれ変わりました。



肉バル ガブル OBPツインタワー店

大阪 京橋 New Open 2019.3.12



肉をガブリと食べて、ワインをガブガブ
熟成肉が気取らず楽しめる鉄板肉バル

高層ビルが集積する大阪・京橋の大阪ビジネスパークに、濃厚な旨みが人気の熟成肉鉄板焼バルがオープン。「熟成ハラミの鉄板ステーキ」「骨付きスペアリブ」など、肉メニューがずらり。鉄板焼きと相性のよいワインやアラカルトの品揃えも豊富です。肉好きのハートと胃袋をわしづかみします。



ラ・ブーシェリー・エ・ヴァン 浜松町クレアタワー店

東京 浜松町 **New Open 2019.1.17**

南仏の肉屋が始めた陽気で愉快的なワイン食堂

牛肉、イベリコ豚、仔羊、鴨、ジビエなど。その日の気分でお好みのお肉をビストロ料理でお楽しみください。ワインはフランス産を中心に60種以上をご用意。



銀座ワイン食堂 パパミラノ サピアタワー店

東京 丸の内 **Renewal Open 2019.2.25**

多彩なシーンで楽しめるトラットリア

グループで陽気に。カップルでシックに。パスタやピッツアといった定番イタリアンからプレミアムなコースまで。東京駅直結ビルで気ままに美味しい時間をどうぞ。



トリッペリア モツダ 大阪マルビル店

大阪 梅田 **Renewal Open 2019.2.27**

人気イタリア大衆ワイン酒場、大阪初出店

肩ひじ張らず、トリッパ料理(ホルモン)やチケッティ(小皿料理)をおなかいっぱい食べて、ワインをガブ飲み。おしゃれな空間はデートや女子会にもおすすめです。



東京コトブキ 大手町店

東京 大手町 **Renewal Open 2019.6.3**

黒豚よし、鮮魚よし、日本酒の品揃えよし

宮崎産霧島黒豚を使った逸品料理と、日本酒の豊富なラインナップが名物。獲れたて漁港直送鮮魚のプリプリの歯応えと旬の滋味が、お酒をすすませます。



酒場
肉の
コトブキ

肉のコトブキ 虎ノ門店

東京 虎ノ門 **Renewal Open 2019.6.7**

「肉×日本酒」を堂々提案するオトナ酒場

骨太の日本酒は肉料理との相性も抜群。醸造酒ならではの優しいふくらした風味が口の中で肉と渾然一体となり、奥深い味わいと心地よい酔いを届けます。



高速道路2施設目「PIT SUZUKA」をオープン

当上半期は、高速道路三木サービスエリアにつづき2施設目となる、新名神高速道路・鈴鹿パーキングエリアの商業施設「PIT SUZUKA（ピットスズカ）」をオープンいたしました。また、ゴルフ場レストランでは、新たに1店舗の運営を受託いたしました。従来にも増して経営のスピードアップに努め、日本No.1のゴルフ場レストランの運営会社を目指して、受託ビジネスの成長を加速してまいります。



パーキングエリア

新名神高速道路
鈴鹿パーキングエリア「PIT SUZUKA」

三重県 鈴鹿市 **New Open 2019.3.17**

多様なニーズに応える多機能エリア

三重県と近隣の特産品等を揃えたお土産コーナー、フードコート、文化・伝統産業発信スペース、ドッグランなど、多様なお客様ニーズに応える多機能エリアです。



ゴルフ場レストラン

いなみカントリークラブフジ レストラン

和歌山県 日高郡 **New Open 2019.6.1**

四半期財務諸表 FINANCIAL STATEMENTS

■ 四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2019年6月30日現在)	前期末 (2018年12月31日現在)
(資産の部)		
流動資産合計	3,578	4,111
現金及び預金	667	696
売掛金	1,976	2,328
商品	58	61
原材料及び貯蔵品	191	222
その他	719	838
貸倒引当金	△35	△36
固定資産合計	11,081	10,575
有形固定資産合計	5,356	5,057
建物(純額)	4,458	4,282
その他(純額)	898	774
無形固定資産	190	191
投資その他の資産合計	5,533	5,326
敷金及び保証金	4,572	4,436
その他	1,180	1,117
貸倒引当金	△218	△227
資産合計	14,659	14,686
(負債の部)		
流動負債合計	7,985	7,824
買掛金	2,479	2,702
短期借入金	2,085	1,392
1年以内返済予定の長期借入金	115	157
未払法人税等	106	217
未払費用	2,067	2,079
役員賞与引当金	17	19
その他	1,114	1,254
固定負債合計	2,317	2,312
長期借入金	100	100
退職給付に係る負債	1,381	1,400
資産除去債務	777	752
その他	58	58
負債合計	10,302	10,136
(純資産の部)		
株主資本合計	4,376	4,579
資本金	1,741	1,741
資本剰余金	965	965
利益剰余金	1,670	1,873
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△20	△29
その他有価証券評価差額金	11	10
退職給付に係る調整累計額	△31	△39
純資産合計	4,356	4,550
負債・純資産合計	14,659	14,686

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2019年1月1日から 2019年6月30日まで)
売上高	18,048
売上原価	16,114
売上総利益	1,934
販売費及び一般管理費	2,079
営業損失(△)	△145
営業外収益合計	109
受取利息及び配当金	0
受取補償金	104
その他	4
営業外費用合計	7
支払利息	4
その他	2
経常損失(△)	△42
特別利益	0
固定資産売却益	0
特別損失合計	89
固定資産除却損	40
減損損失	33
店舗等撤退損失	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△132
法人税、住民税及び事業税	104
法人税等調整額	△76
法人税等合計	27
四半期純損失(△)	△160
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

株式の状況 STOCK INFORMATION (2019年6月30日現在)

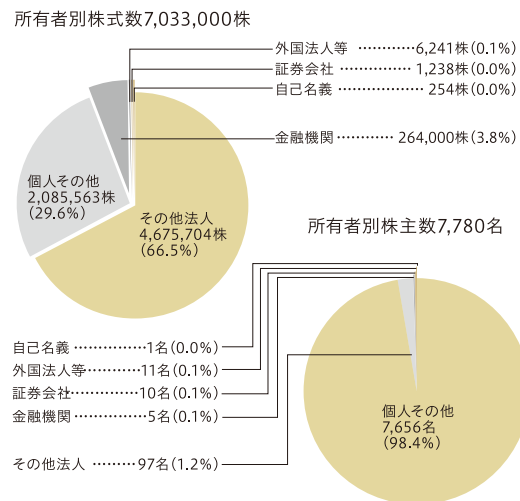
株式の総数及び株主数

発行可能株式総数…………… 24,000,000株
 発行済株式の総数(単元株式数100株)…………… 7,033,000株
 株主数…………… 7,780名

大株主

株主名	所有株数	持株比率
サントリーホールディングス株式会社	4,340,000 株	61.7%
鴻池運輸株式会社	150,000	2.1
ダイナック従業員持株会	141,200	2.0
日本生命保険相互会社	84,000	1.2
株式会社三井住友銀行	60,000	0.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000	0.9
株式会社佐々木	40,000	0.6
三井住友信託銀行株式会社	40,000	0.6
関口 正明	20,100	0.3
三井住友海上火災保険株式会社	20,000	0.3

所有者別の株式数と株主数



株主優待制度のお知らせ INFORMATION FOR SHAREHOLDERS

弊社では、株主様の日頃のご支援とご愛顧に感謝を込めまして、株主優待制度を設けております。この優待制度は、当社グループの事業活動に触れていたただ機会をご提供させていただくことで、弊社をよりご理解いただくことを目的としたものです。これからも株主様との対話を通じた信頼関係を築いてまいります。今後とも暖かいご支援と変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。



■ 株主優待の方法

毎年6月30日及び12月31日現在の株主様に対し、年2回、以下の基準により株主優待お食事券を贈呈いたします。

(1) 贈呈基準

- ①所有株式100株以上500株未満：株主優待お食事券 2千円(1,000円券 2枚)
 - ②所有株式500株以上1,000株未満：株主優待お食事券 6千円(1,000円券 6枚)
 - ③所有株式1,000株以上(一律)：株主優待お食事券 12千円(1,000円券 12枚)
- ※お食事券をご希望されない株主様には、全ての株主優待お食事券をご返送いただいた場合上記贈呈基準に応じて①2kg ②5kg ③10kgのお米(コシヒカリ)と交換いたします。

(2) 利用方法

当社が経営する店舗(贈呈者には一覧表にて別途通知)においてご飲食の際使用できます。発行日より1年間

(3) 送付時期

6月30日現在の株主様……………9月下旬頃
 12月31日現在の株主様……………翌年3月下旬頃

会社概要 CORPORATE DATA (2019年6月30日現在)

商号	株式会社ダイナックホールディングス
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目8番1号
設立年月	昭和33年3月
資本金	17億4,162万円
店舗数	248店舗(連結)
決算期	12月31日(年1回)
社員数	995人(連結)
事業内容	グループ会社の経営支援及び管理
グループ会社	株式会社ダイナック 株式会社ダイナックパートナーズ

◆ 役員 (2019年6月30日現在)

代表取締役社長	若杉 和正
取締役	及川 直昭
取締役	保坂 孝徳
取締役常勤監査等委員	岡 哲義
取締役監査等委員	小松 美喜男
取締役監査等委員	安井 信裕

株主メモ SHAREHOLDERS' MEMO

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会:12月31日 期末配当金:12月31日 中間配当金:6月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	当社のホームページ(https://www.dynac.co.jp)にて電子公告により行います。ただし、電子公告を行うことができない事故やその他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所

● 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について
 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社にご連絡をお願いします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

● 特別口座について
 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出には、上記の電話照会先までご連絡をお願いします。

「投資家の皆様へ」のサイト



<https://www.dynac.co.jp>

株主様や投資家の皆様に、当社の**事業活動**についてご理解を賜るべく、ホームページに**「投資家の皆様へ」のサイト**を設けております。また、次々にオープンする新店舗の情報や各店舗のお得なイベント情報など「美味しい情報」をタイムリーに提供しております。

□ 株式会社ダイナックホールディングス 法務・総務部
〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目8番1号 UD FONT
TEL.03-3341-4216 / FAX.03-3352-4915

- ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。
- この印刷物は地球に優しい大豆油インキとエコロジーペーパーを使用しております。